

「ブラームスとポスト・ロマン主義の音楽」

Brahms and Postromantic music

Brahms 1833, Bruch 1838 and Elgar 1857

ブラームスの音楽が20世紀前期にどのような影響をもたらしたのかについては、その全体像が示されているとは言えない。新ウィーン楽派の音楽に関してはシェーンベルクとの関連性が指摘され、またシェーンベルク自身もブラームス論を述べていることからこれまででもたびたび言及されている。同じ20世紀前期にイギリスで活躍したエルガーの作品中でもっともブラームスとの結びつきを強くしている作品は「ピアノ五重奏曲」(作品84)であろう。この作品は第1次世界大戦の終戦後ほどない1919年に完成した作品で、エルガーの作品の中でも記念碑的な傑作である。マックス・ブルッフとブラームスとの関連はきわめて重要である。ブルッフは1870年に出版した交響曲第1番をブラームスに献呈した。また彼のヴァイオリン協奏曲第1番はブラームスに大きな影響を与えたことはよく知られている。ブルッフの「クラリネットとヴィオラのための協奏曲」(作品88)はまさに残照のロマンティズムそのものであり、ブラームスの名残といっても過言ではない。(西原稔)

-
- 特別講演 / ブラームスとポスト・ロマン主義の音楽 西原稔(JBS 顧問 桐朋学園大学教授)
- ブルッフ / クラリネットとヴィオラのための二重協奏曲 ホ短調 Op. 88 (20)
cl 亀井良信 (桐朋学園大特任講師、東京音楽大講師、洗足学園音楽大非常勤講師)
Va 梅津美葉 Pf 犬飼実花
- エルガー / ピアノ五重奏曲 イ短調 Op. 84 (40)
Vn 会田莉凡 Vn 小川響子 Va 七澤達哉 Vc 黒川実咲 Pf 江沢茂敏
- ブラームス / ピアノ三重奏曲 第2番 ハ長調 Op. 87 (35)
Vn 梅津美葉 (第60回音コン1位 桐朋学園大講師、洗足学園音楽大講師)
Vc 上森祥平 (第66回音コン1位 東京芸大を経てベルリン芸大卒)
Pf 鈴木謙一郎 (第60回音コン1位 愛知県立芸大准教授、名古屋音大非常勤講師)
-



亀井良信



上森祥平



鈴木謙一郎



梅津美葉



西原稔

2015年6月7日(日) 2pm 開場 1:30pm

会場 ヤマハ銀座店(7丁目) 6F サロン 90席

チケット 全自由 一般¥5000 学生¥3500(会員限定)

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会
共催 (株)ヤマハミュージックリティリング銀座店 (お問合せ先/JBS)
主催 日本ブラームス協会 (JBS) <http://japan-brahms-society.org>
チケット JBS事務局 Tel/Fax 03-3990-0611 メール jbs1973@jcom.home.ne.jp



●Vn 会田 莉凡 (あいだ りぼん)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。第6回ルーマニア国際音楽コンクール、第81回日本音楽コンクール、第3回秋吉台音楽コンクールにてそれぞれ第1位を受賞。東京・春・音楽祭、シャネル・ネクサスホールなどでのリサイタルの他、別府アルゲリッチ音楽祭、びわ湖ジルベスターコンサートにソリストとして、宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラに出演。現在、徳永二男氏に師事。



●Vn 小川 響子 (おがわ きょうこ)

第10回東京音楽コンクール 弦楽部門第1位、及び聴衆賞を受賞。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、リゾナーレ室内楽セミナーに参加。これまでに、新日本フィル、東京フィル、日本フィル、関西フィル、神戸市室内合奏団、他オーケストラと共演。ヴァイオリンを塩谷峰子、西和田ゆう、漆原朝子、原田幸一郎の各氏に、ビオラを市坪俊彦に師事。東京芸術大学在学中。サントリー室内楽アカデミー第3期フェロー。



●Va 七澤 達哉 (ななさわ たつや)

2006年、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校入学を機にヴィオラに転向。同年よりカルテットN、アンサンブルソノールのヴィオラ奏者として活動。2013年、東京芸術大学音楽科卒業。2011年、第12回大阪国際音楽コンクール アンサンブル部門第1位、併せて神戸市長賞受賞。2014年、第2回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第2位受賞。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀2010～2014等に参加。ヴィオラを川本嘉子氏、川崎和憲氏、市坪俊彦氏に師事。



●Vc 黒川 実咲 (くろかわ みさき)

第9回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部金賞。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部第2位。愛知県立明和高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。室内楽を藤井一興、佐々木亮、徳永二男、堤剛、チェロを中島顕、倉田澄子の各氏に師事。イーゴリ・ガブリリッシュ、ロラン・ピドゥ、マリオ・ブルネロ、ルイス・クラレット、フランス・ヘルメルソンの各氏のマスタークラスを受ける。現在、山崎伸子に師事。



●Pf 江沢 茂敏 (えざわ しげとし)

都立芸術高校卒業後、桐朋学園大学に入学。第35回ピティナ・ピアノコンペティションG級金賞。第3回桐朋ピアノコンペティション第1位。第81回日本音楽コンクールピアノ部門第3位。桐朋学園大学ピアノ専攻卒業演奏会、桐朋学園大学卒業演奏会に出演。新谷規子、西江恵子、永岡信幸、北島公彦、長谷正一、本村久子、松田康子、二宮裕子の各氏に師事。現在、大野眞嗣氏に師事。桐朋学園大学科目等履修生在学中。



●Pf 犬飼 実花 (いぬかい みか)

愛知県立明和高校音楽科を経て、現在、桐朋学園大学3年在学中。第12回エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール(ドイツ)Bカテゴリーファイナリスト。第25回愛知ピアノコンクールC部門金賞、中日新聞社受賞。第13回大阪国際音楽コンクール Age-U エスポアール賞。第4回東京ピアノコンクール大学部門第3位。島田透子、竹本絵己、清水皇樹、青柳晋の各氏に師事。現在、中井恒仁氏に師事。室内楽を漆原啓子、落合美和子、中川朋子の各氏に師事。



■C1 亀井 良信 (かめい よしのぶ)

桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。パリ市12区立ポール・デュカ音楽院、オーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方国立音楽院をいずれも満場一致の1位で卒業する。ピエール・ブーレーズに認められ、フランスの騎馬オペラ団“ジンガロ劇団”のスペクタクル“TRIPTIK”でソリストとして出演。2003年帰国。第16回出光音楽賞、2005年度「アリオン賞」、2009年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。桐朋学園大学特任講師・東京音楽大学講師・洗足学園音楽大学非常勤講師。

■Vc 上森 祥平 (うわもり しょうへい)

東京藝術大学在学中に日本音楽コンクール第1位、及び「松下賞」受賞。2005年ドイツ国家演奏家資格を取得しベルリン藝術大学を卒業。ラ・フォル・ジュルネ音楽祭他多数出演。2008年より毎年パッサム無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開催。小林研一郎、下野竜也等各氏指揮のもと、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団等と共演。ヴォルフガング・ベツチャー、河野文昭、山崎伸子の各氏に師事。京都市芸術文化特別奨励者及び京都府文化賞奨励賞受賞。

■Pf 鈴木 謙一郎 (すずき けんいちろう)

桐朋女子高等学校音楽科入学。第42回全日本学生音楽コンクール高校の部全国第1位。第60回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学研究科入学。文化庁海外派遣研修生としてトゥールーズ音楽院入学。特別1等賞卒業。'03年ホロヴィッツ国際音楽コンクール第4位入賞。東京交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団等、ウクライナ国立フィルハーモニー、キエフナショナルフィルハーモニー等と共演。ラフマニノフを録音したCD「Ken-ichiro plays chmaninoff」をカメラータよりリリース。愛知県立芸術大学音楽学部准教授、名古屋音楽大学非常勤講師。

■Vn, Va 梅津 美葉 (うめづ みよう)

高校在学中、第60回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学在学中に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院最上級演奏家課程へ入学を許可され、審査員全員一致の最優秀賞及び特別賞を得て卒業。NHK交響楽団、東京交響楽団等と共演の他、ベルリン・フィルハーモニーのメンバーや、フランス国立ロワール・オーケストラのツアーに、ソリストとして同行。近年では「ベルフィエユ・アンサンブル」代表として、朗読と音楽や子どもたちへのコンサートなど、新しい形の活動も行っている。現在桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学子供のための音楽教室講師、各種コンクール審査員も務める。